

2006年 10月27日(金)・28日(土)

東京文化財研究所 美術部  
第40回オープンレクチャー

人とモノの力学

受講無料・要申込み(裏面に詳細)

◎いずれも午後1時30分～午後4時30分  
東京文化財研究所・地階セミナー室



天燈鬼立像(奈良・興福寺蔵)  
背景: 本朝画史(当研究所蔵)

◆10月27日(金)

10世紀の造寺造仏

皿井 舞(東京文化財研究所企画情報部研究員)

奈良・興福寺の造像と図像継承

瀬谷貴之(神奈川県立金沢文庫学芸員)

◆10月28日(土)

雪舟と宗港

綿田 稔(東京文化財研究所美術部研究員)

本朝画史の情報と成立

五十嵐公一(兵庫県立歴史博物館学芸員)



東京文化財研究所 美術部  
第40回オープンレクチャー  
人とモノの力学

東京文化財研究所美術部では、毎年秋に研究成果を一般に公開するために講座を開いています。今年も下記の通り、2日連続で4人の講師による講演会を行います。

■2006年10月27日(金)午後1:30~4:30 於 東京文化財研究所・地階セミナー室

10世紀の造寺造仏

皿井 舞 (東京文化財研究所企画情報部研究員)

京都市の南東に位置する笠取山に造営された醍醐寺は、平安時代・貞観年間(859~877)の終わり頃に、聖宝が開創した真言密教の寺である。本講演では、この上醍醐薬師堂に安置されていた、10世紀初頭の作である薬師如来像について、しばしば指摘されてきた復古的な造形要素とそれが要請された背景を読み解く。

奈良・興福寺の造像と図像継承

瀬谷貴之 (神奈川県立金沢文庫学芸員)

興福寺は創建以来、災厄にあいながらも、その都度再興されてきた。本講演では同寺の鎌倉再興造像の図像継承を中心に論じる。まず、旧講堂諸尊像の図像の規範性を明らかにし、次いで旧西金堂安置の天燈鬼・竜燈鬼像における古典図像の改変・創意を指摘する。そして、これら興福寺内における図像継承の両者・両様のあり方を位置付けたい。

■2006年10月28日(土)午後1:30~4:30 於 東京文化財研究所・地階セミナー室

雪舟と宗湛

綿田 稔 (東京文化財研究所美術部研究員)

雪舟等楊はその制作の大部分を山口でおこなったが、ちょうどそのころ京都で活躍した絵師に自牧宗湛という人がいる。現在、宗湛は忘れられており、一方で雪舟は国家的高評価を得ている。本講演では、両者の評価がいつどこで入れかわるのかに注目し、両者の歴史的価値がどの辺りにあるのかを浮き彫りにすることを試みたい。

本朝画史の情報と成立

五十嵐公一 (兵庫県立歴史博物館学芸員)

狩野永納の『本朝画史』は日本美術史研究の最重要文献の一つだが、永納はそこに記した情報を一体どのように入手したのだろうか。また、『本朝画史』完成に至るまでにはどのような経緯があったのだろうか。本講演では、この二つの問題を永納の交流関係に注目しながら考えたい。『本朝画史』を新たな視点から捉えてみたい。

受講方法

受講には事前の申込みが必要です。往復はがきに「美術部オープンレクチャー参加申込み」と明記の上、参加希望日、氏名、住所、電話番号を記入して下記宛にお申込み下さい。

申込みはファックスでも受け付けます。返信のためのファックス番号を必ず書き添えてお申込み下さい。申込み用紙は東京文化財研究所ホームページからダウンロードできます。

定員：各日80名(申込み先着順)

受講料：無料

申込み締め切り：2006年10月20日(金)

(各日定員になり次第、締め切らせていただきます)

申込み・問合せ先：東京文化財研究所美術部

〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43

電話03-3823-4829 ファックス03-3823-2371

ホームページ <http://www.tobunken.go.jp/>



黒田記念館特別公開

2006年10月30日(月)~11月5日(日) 午後1時~4時

黒田記念館は、上野の山文化ゾーンフェスティバルに合わせて、10月30日(月)から11月5日(日)まで、毎日午後1時から4時まで特別公開をします。

また通常の公開は、9月2日(土)より毎週木曜日および土曜日の午後1時から4時まで行います。入場は無料です。